



企業における パラスポーツ活用 交流会

組織にもたらされる具体的な効果を体感

D&Iを次のステージへ — 支援から共創へ

会場：23F（C2305）

3社の活用事例

ブース展示・個別相談

体感ワークショップ

主催：日本パラ・パワーリフティング連盟

「持続可能で、多様な個人を包摂する社会の実現」に向けた企業理念



「連結と相互扶助（力の掛け算）」

「社会貢献と未来志向」

「インクルージョンとQOL向上」

私たちのビジョン

筋肉で日本を持ち上げる

すなわち、すべての上向きの力の源たること



パラ・パワーリフティングは、下肢に障害のある選手が、上半身の力でバーベルを持ち「あげる」ベンチプレス競技。

バーベルを「あげる」活動を通して、日本を持ち上げます！日本の上昇気流の源泉になります！

私たちのビジョン

筋肉で日本を持ち上げる



バーベルを「あげる」活動を通して、日本を持ち上げる、日本の上昇気流の源泉になる

…3つの視点



① 選手の挑戦・活躍を通じて人々に喜びや元気を与える



② トレーニングノウハウを多競技に伝え、応用してもらうことで
様々なスポーツの競技力向上の一助に



③ (学び・働き+休養)社会活動全般で
筋肉を鍛えることの効果が発揮される



私たちのミッション 「すべての体に、最高記録は眠っている。」



信念：可能性は、誰の中にもある

パラ・パワーリフティングの特徴

- ➔ 障害によるクラス分けがない。
- ➔ 世界記録は同等の健常者の記録をほぼすべての階級で上まわる。



私たちが解決したい社会課題
「違い」にフォーカスすることで
生まれる「見えない壁」

障害の有無も、程度も関係なく
一緒に力比べができる世界。

➔ インクルーシブ = 「得意なことを持ち寄る」と定義



応援集中型チャレンジ研修

【 応援と感謝の力 】

「社員の心と社会を育てる企業」へと進化

✖ 単なるCSR活動

○ 健康経営スコアの向上

○ エンゲージメント強化

○ ダイバーシティ推進の具体化



パラ・パワーリフティングの
唯一無二性を活用！

唯一無二とは？

①

試合では、ステージ上にベンチ台が1台



北九州2018アジアオセアニア選手権大会 九州芸術劇場のステージ

東京2020パラリンピックの会場 国際フォーラムのステージ





唯一無二とは？

②

応援が一人の選手に向けられる







唯一無二とは？ ②応援が一人の選手に向けられる



この「応援の集中」が、他のパラスポーツでは代替できない

心と脳に作用する体験 

応援が効く？科学的根拠 🙌

①「脳は主語を区別しない」という非集合性

【提唱者】 脳科学者・米山喜平氏 ら

②幸福ホルモンの分泌

【提唱者】 脳科学者・樺沢紫苑氏 ら

③心の中の独り言が変わる

【提唱者】 脳科学者・西剛志氏



応援が効く？科学的根拠

①「脳は主語を区別しない」

脳科学では、他者への応援の言葉が
自分への言葉として認識され
自己肯定感と挑戦意欲を高めます

挑戦する力に 

メンタルトレーナー大嶋啓介氏が

オリンピックの父親の子育てや、を例に「脳は主語を区別しない」ことを語る動画



応援がきっかけ！ エピソード

東海大学3年生 吉原さん



2025.7.30-8.1「スポルテック2025」にてボランティア



応援集中型チャレンジ研修

社員の心と脳に働きかける新しいソリューション

目的：企業の課題解決

手段：応援と感謝の循環

対象：内定者、新入社員、管理職、アルムナイ など

プログラムのご提供や企業様との協同による
パラ・パワーリフティング連盟にとってのWIN

- ・事務局スタッフ人件費に充当するためのプログラム収益
- ・競技の社会的価値の証明
- ・共同事例による提案書の説得力強化
- ・競技普及 … 等

